

- *「すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。」(ヨハネ1:9)「まことの光」とはイエス・キリストのことで、絶対に消えない根源の光、最も美しい光である。太陽の光なしでは私たちは生きられないが、その太陽も神の被造物であり、いずれ消滅する。しかし、まことの光は永遠に輝いている。
- まことの光は「すべての人を照らす」光である。イエス・キリストはイスラエルの光となるためだけではなく、「異邦人を照らす光」でもあった。全世界のすべての人がイエスの光を受けて救われるようにという神のご計画であった。しかし、この光を受け取った者は少なかった。
- *まことの光は私たちの内面を照らす。私たちは誰でもこのまことの光を嫌う性質を生まれつき持っている。その強烈な光で私たちのこころの奥の汚いところ、闇をさらけ出されるからである。しかし、このいわゆる「罪」を明らかにされるのは良いことであり、必要なことである。このイエスという光によって私たちの醜さ、弱さを知ることができるのである。なぜなら、イエスは神様であり、聖い方であり、正しい方だからである。
- *まことの光は私たちの外面をも照らす。私がどのように歩んだらよいか、足元を光で照らしてくれる。「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」(詩編119:105)この世は神様に反対する勢力が強く、悪がはびこっている。まさにこの世は闇であることを実感する。これは今に限ったことではない。しかし、イエスはこのような暗い世に来られて私たちに光を与えられ、まっすぐな道、天国へ向かう道を教えてください方である。どうせ暗い世の中なら、好き勝手に生きればよいのではない。また、勇気や元気もなく消極的に生きるのも間違っている。「光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。」(ヨハネ1:5)「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」(ヨハネ8:12)まことの光を求めてまことの光を知り、希望と平安の人生を送りたい。
- *「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。」「あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあかめるようにしなさい。」(マタイ5:14、16)イエスを信じる者はイエスの光を受けて世の光となることができる。イエスに従って歩めば、自然に神様に喜ばれる良い行いをする事ができ、イエスがまことの光であることを人に伝えることができるのである。